

在学生Tさんの留学体験記

滞在期間:6か月

留学先:フランス アンジェ

留学した学校名:西部カトリック大学

皆さん、こんにちは！フランス語フランス文学科のTです。この度、留学体験記を書くことが出来て、大変光栄に思っております。これから留学を考えている皆さんに分かりやすく、沢山のことをお伝えできるように、4つのテーマに分けてお話していきます。(もし気になっている所から読みたいという方は、是非そちらまで飛んで読み始めてください。)|



アンジェ城

1つ目は、留学のための準備・必要なもの・やっておきたいことについて。

2つ目は、学校のこと・滞在していたところについて。

3つ目は、留学して良かったこと。

4つ目は、留学して大変だったこと。

◇留学のための準備・必要なもの・やっておきたいこと

まず、3か月以上の留学を考えている方は VISA を取得しなければいけません。他にも、沢山の書類に目を通して、色々な手続きをしなければなりません。何か不備があったりしたら大変ですよ…。そこで私は、日仏文化協会という代行会社をお願いして、留学の様々なことをサポートして頂きました。日本でもフランスでもスタッフさんがいらっしゃる、沢山お世話になりました。勿論、お金は多少かかってしましますが、安心料として考え、代行会社の方たちのサポートを受けることを私はお勧めいたします。次に、私があつて良かったなと思ったものは、葛根湯・日本のご飯・日本らしいお土産です。特に、日本のお土産はフランス人の方や他国からのクラスメイトに喜んでもらいました。例えば、和柄の風呂敷、髪どめ、寿司ネタのキーホルダーなど、百円均一とかに売っているもので十分なので、是非持って行って下さい。最後にできたらやっておきたいことは、単語を沢山覚えておくこと、フランス語で映画を鑑賞すること、TAの先生のもとで留学先の町、フランスでのマナー等について教えてもらうことです。

◇学校のこと・滞在していたところ

私は、アンジェ西カトリック大学の語学学校である CIDEF に通っていました。この学校にした理由はただ一つです。課題がきちんと出るという(先生方が厳しいとも聞きましたが)ことを聞いたからです。「え～。何で自分からそんな険しい道に行くの?」と周りの人からは言われました。

でも、留学って勉強するために行くもので、かつ、私は環境に流されやすい人なので、勉強ができる環境が一番整っていると感じた CIDEF に決めました。

しかし、他にも理由があります。それは、アンジェの人々のフランス語は綺麗だと聞いたこと(パリではアジア人＝観光客なのでほとんどの人が英語で話しかけられるためフランス語が上達しないと考えました)、治安が比較的良いと聞いたこと(パリには沢山スリがいて…。前年の2月に参加した研修旅行で、ここに住むことは無理だなあと感じてしまいました)。すごいパリを悪く言っている感じになってしまいましたが、私がフランス留学をしたかった一番の理由が、バレエの基礎が出来たフランス文化を肌で感じてみたいということでした。故に、勿論花の都パリでバレエを見るということも目的の1つでした。(しかし、ストライキとコロナのせいで、オペラ座でバレエを鑑賞する目的を果たさないまま帰国してしまいました。絶対にリベンジします。) TGV でパリまで3時間というアンジェという町は、そんな私にとって最も魅力的な町に見えました。



パリ・オペラ座

次に学校についてお話をしていきたいと思います。クラスはだいたい 20 人くらいで、ベトナム・中国・韓国・シリア・メキシコ・インド・アメリカ等様々な国から留学に来ていました。担任の先生を始めとして、聞き取り・会話・読解・発音矯正と5人の先生からご教示いただきました。どの先生も、優しく、丁寧に教えてくれて、出来ると沢山ほめてくださいました。それが、モチベーションとなり、先生方に会うのが嬉しくて学校に行っていました(笑)。また、日本語を勉強しているフランス人の方とも交流できる機会があり、今でも連絡を取り合っている友人もいます。クラスメイトはとっても個性豊かで…、でも徐々に仲良くなりました。私は語彙力に乏し



サグラダファミリア

い上に、リスニング力も無かったので最初は授業についていくのも、友人を作るのも大変でした。皆さんには勉強を沢山して留学に行くことを強くお勧めします。

滞在場所についてもお伝えしましょう。私は寮に住んでいたのですが、そこでは留学生2・3割で他はフランス人の方たち(30 歳未満の学生さんや社会人)でした。平日は朝ご飯と夜ご飯がついており、誕生日会、クリスマス、ガレット・デ・ロワ等のイベントも沢山ありました。寮長さんやスタッフの皆さんもとっても

優しく、過ごしやすかったです。反面、異文化の人々との共同生活は誤解と行き違いも多々ありましたが、時間の経過とともに意思疎通ができるようになりました。ホームステイをした友人の話の聞くと、マダムとの買い物やホームパーティーが楽しかったと言っていました。

◇留学して良かったこと

私が留学して良かったなと思ったことは3つあります。1つ目は、他国の文化に触れたことによって、視野や考え方が広がったことです。日本人の良いところ、フランス人の良いところ etc…自分なりに分かったことによって、自分の性格が前よりも外交的になったと感じます。また、間違いを恐れなくなったこともこの影響によるものかなと思います。2つ目は、ヨーロッパの国々を旅することが出来たことです。日本から行くととっても遠くて大変ですが、フランスが拠点となったことで、ドイツ・ベルギー・オランダ・スペインの四か国に行くことが出来ました。そこでも、文化の違いに触れたことによって色々学ぶことが出来ました。ドイツのクリスマスマーケット、建設途中のサグラダファミリアなど、目を閉じると今でもすぐにその情景が思い出されるくらい印象的でした。最後は、東京にいたころよりも更に自立することが出来たところ。自炊や洗濯をするようになり、以前よりも自己管理能力が高くなったと思います。



クリスマスマーケット

◇留学して大変だったこと

私が留学して大変だったことは3つあります。1つ目は、フランスに来た当初は色々なことが不安すぎて凄く日本に帰りたいという衝動にかられたことです。カレンダーに「あと何日で帰ることが出来るか」というカウントダウンを作成したりしていました(笑)。2つ目は、たまによく分からない人に遭遇したことです。歩いている時にいきなり驚かされたり、「こんにちうえーい」とよくわからない日本語で挨拶されたりとか…。こういうことは滅多にないのですが、忘れた頃にやって来たりして…。慣れるまで多少大変でした。3つめは、フランス語の授業です。文法は得意なのですが、単語力と積極性に欠けていて…。最初は何にも分からないし、何にも発言できませんでした。やっぱり日本に帰りたくなりましたが、家に帰ってから必死で予習復習をしました。(大学入試の悪夢再来!?)他にもいろいろありましたが、時間の経過とともに徐々に慣れて解消していくものです。だから、あまり心配しないでください。



友人との旅行にて(コルマール)

いかがでしたでしょうか？コロナウイルス感染症拡大ため緊急帰国となってしまいましたが、この6ヶ月間で沢山のことを吸収することができました。現地の先生方やクラスメイトお世話になった方々(アンジェのバレエスクールの先生方、レッスン仲間とは、6月の発表会に参加で

きずに帰国したため、本当に心残りです。)《Merci ! Au revoir.》と言えなかったことが一番悲しかったです。いつか会いに行きたいですね…。そして、コロナ禍になってしまったことで学んだ事も有ります。それは、いつも今日と同じような明日が来るわけではないということです。今日できることは今日のうちに終わらせて、後悔の無いように生きていきたいと思います。